

## 三宅島山頂カルデラ壁の比較的大規模な崩落について

2008 年 5 月 15・16 日に行った山頂付近の調査により、陥没カルデラ南西縁にあたる 716 m ピーク（北緯 34 度 5 分 1 秒、東経 139 度 31 分 7 秒）付近のカルデラ壁が、長さ約 230 m、奥行き最大約 60m にわたってカルデラ内部に崩壊しているのを発見した（図 1・2）。崩壊堆積物はカルデラ床南西部の約 300m × 250m の領域を覆っている。崩壊部分の体積は約 30 万立方メートルと推測されるが、崩壊の領域・規模についてはより詳細な検討が必要である。

本崩壊が発生した時期については不明であるが、2007 年 9 月 14 日に撮影されたカルデラ底の写真には崩壊堆積物は認められない。崩壊堆積物の状況から、崩壊は比較的最近発生したものと考えられる。

小規模な崩壊・落石は 2008 年 5 月 16 日現在も進行しており、崩壊地点直下にあたるカルデラ壁南西部のカルデラ壁基部に崖錘が成長しつつある。

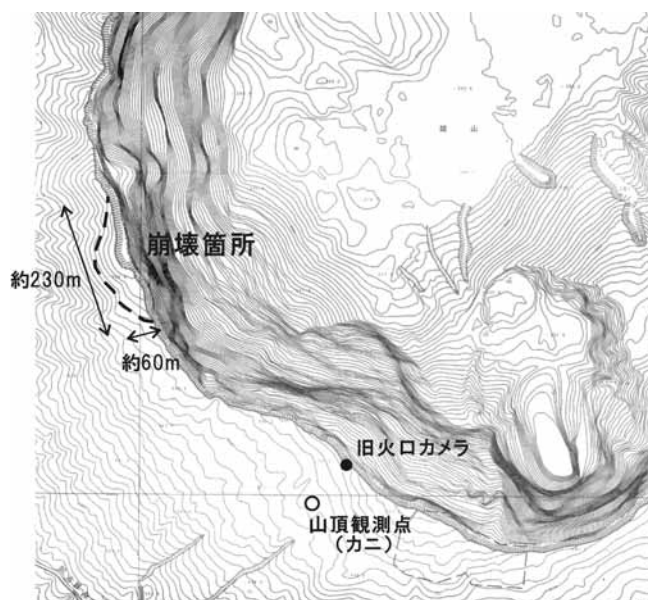


図 1：カルデラ壁崩壊位置

この図の作成にあたっては、国土地理院発行の 5000 分の 1 火山基本図「三宅島」を縮小の上使用した。

### 七島展望台より

2008年5月15日  
(崩落後)

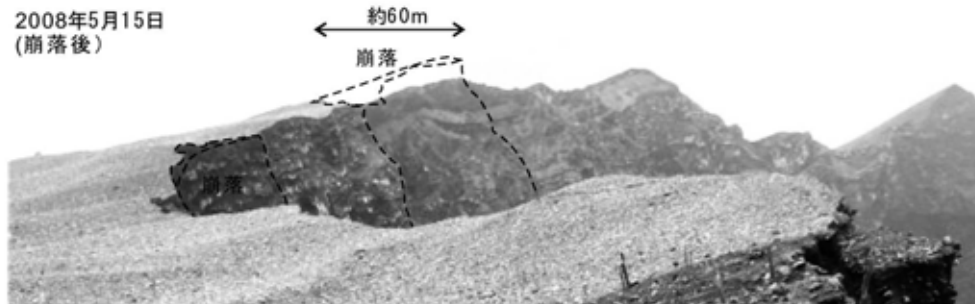


2007年3月26日  
(崩落前)



### 旧火口カメラ地点付近より

2008年5月15日  
(崩落後)



2007年6月3日  
(崩落前)



図2：崩壊前後の状況。

各図上：崩落後（2008年5月） 下：崩落前（2007年3月及び5月）